

NEWS RELEASE

グローバルで環境改善活動を着実に推進

三菱電機グループ「環境報告 2017」公開のお知らせ

三菱電機株式会社は、三菱電機グループ^{※1}の 2016 年度の環境経営の取り組み成果を「環境報告 2017」として、本日から三菱電機オフィシャルウェブサイトで公開します。

2015~2017 年度の活動目標を定めた「第 8 次環境計画」では、「低炭素社会への貢献」「循環型社会形成への貢献」「自然共生社会の実現」「環境経営基盤の強化」を重点推進項目として掲げており、中間年度の 2016 年度は目標達成に向けほぼ計画通りに推移しました。

三菱電機グループは、2015 年に国連総会が採択した「持続可能な開発目標（SDGs）」などの国際社会からの要請も考慮に入れた環境活動を推進し、「持続可能な社会」と「安心・安全・快適」な生活が両立する豊かな社会の実現に貢献する「グローバル環境推進企業」を目指します。

※1：三菱電機、国内関係会社 109 社および海外関係会社 79 社の合計 189 社が対象

「環境報告 2017」（2016 年度の環境経営の取り組み）掲載 URL

<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/corporate/environment/>

2016 年度の主な取り組みと成果

1. 低炭素社会への貢献：製品生産時と使用時の両方で温室効果ガスの排出を低減

- (1) 生産時の CO₂ 総排出量（換算）は、生産設備の更新や運用の見直しなどの各種削減施策により、2016 年度目標の 143 万トンを下回る 134 万トンに抑制^{※2}
 - ・ CO₂以外の温室効果ガスの排出量は、海外工場での HFC（ハイドロフルオロカーボン）削減の促進などで、目標の 27 万トンを下回る 26 万トン（CO₂換算値^{※3}）に抑制
 - ・ エネルギー起源 CO₂ の排出量削減は、高効率な空調機器や LED 照明器具への更新に加え、IoT を活用した生産効率の改善などにより、前年度比 2.3 万トン削減
- (2) 製品使用時の CO₂ 削減率は、産業メカトロニクスや家庭機器分野を中心に製品の省エネ化が進み、対象 106 製品で、2016 年度目標の平均 34% を上回る 35%まで向上

※2 : CO₂ 排出係数は第 8 次環境計画策定時の電気事業連合会 2013 年公表値 原発 2 基稼働時の 0.487t-CO₂/MWh を使用

※3 : CO₂以外の温室効果ガスの温暖化係数は IPCC 第二次評価報告書 1995 年公表値を使用

2. 循環型社会形成への貢献：再利用率向上による水の有効活用

- ・ 世界資源研究所が開発した水資源評価ツール（WRI Aqueduct）を活用し、国内外の全生産拠点で経度・緯度から地理上の水リスク対策を評価し、対策が必要な拠点の優先順位を明確化
- ・ 生産工程における水の再利用と浄化処理した廃水のトイレや水冷式冷却装置への活用を推進した結果、水の再利用率を 1% 改善し、総使用量は 4 万 m³ 削減

3. 自然共生社会の実現：国内拠点での生物多様性保全活動の拡大

- ・ 希少種・固有種の保全をはじめとする生物多様性保全活動の一環として国内 10 製作所（2015 年から累計 17 製作所）で敷地内の生物調査などを開始
- ・ 親子向け自然観察「みつびしでんき野外教室」と「里山保全プロジェクト」に、開催地区数拡大と地域児童の参加数増加により、2016 年度目標の 3,500 人を超える 5,100 人が参加

4. 環境経営基盤の強化：国内外 90 製造拠点の環境取り組みレベルの“見える化”で、環境管理レベルを向上

- ・ 国内外 90 製造拠点で共通のチェックシートを活用して「大気」「水質」「化学物質」「温暖化」「廃棄物」の 5 分野の改善活動を推進した結果、環境管理レベルの全拠点平均値が、2016 年度目標を上回る 90 点以上（100 点満点）を達成

今後の展開

2015年に国連が採択した「持続可能な開発目標（SDGs）」で示された、2030年までに達成すべき17の目標のうち、「気候変動及びその影響の軽減」「水と衛生の利用可能性と持続可能な管理の確保」など5つの目標が、三菱電機グループの環境活動に関連します。

三菱電機グループは、2018年度に「環境ビジョン2021」の達成に向けた最後の3カ年計画である第9次環境計画（2018～2020年）をスタートさせます。SDGsの達成に貢献することを目指し、2030年・2050年を見据えた中長期ビジョンの策定を進めていきます。

「第8次環境計画」掲載 URL : <http://www.MitsubishiElectric.co.jp/news/2015/0423-a.html>

主な活動項目における目標と実績について

分類	主な活動項目		評価指標	2016年度目標	2016年度実績	評価	第8次環境計画（2017年度）目標
低炭素社会実現に向けた取り組み	生産時のCO ₂ 排出削減		CO ₂ 換算排出量	143万トン	134万トン	○	137万トン
	製品使用時CO ₂ の排出削減	省エネ性能向上による製品使用時CO ₂ 削減	平均削減率（2000年度比）（対象107製品）	34%（107製品）	35%（106製品）	○	35%以上
		製品使用時CO ₂ 削減の貢献量拡大	削減貢献量（対象124製品群）	7,500万トン	6,900万トン	×	9,200万トン
循環型社会形成に向けた取り組み	資源有効活用		最終処分率	当社	0.1%未満	0.002%	○ 0.1%未満
				国内関係会社	0.1%未満	0.02%	○ 0.1%未満
				海外関係会社	0.6%未満	0.69%	× 0.5%未満
	資源投入量の削減			平均削減率（2000年度比）（対象64製品）	40%	38%	× 40%以上
自然共生社会実現に向けた取り組み	「みつびしでんき野外教室」「里山保全プロジェクト」の継続開催		3年間累計参加人数	年度参加人数 3,500人	年度参加人数 5,100人	○	3年間累計 30,000人
	グローバルでのe-learning実施による環境マインド醸成		実施社数	140社	144社	○	140社
	事業所の生物多様性保全構内生物調査		実施事業所数（累計）	18事業所	17事業所	×	全24事業所
環境経営基盤の強化	統一基準による環境取り組みリスクの評価と海外工場のレベル向上		全拠点評点平均	当社	95点	97点	○ 100点
				国内関係会社	85点	92点	○ 90点
				海外関係会社	75点	91点	○ 80点